

ツキノワグマのエサ資源調査結果について

ツキノワグマの秋の大量出没は、冬眠前のエサの状況に左右されることから、毎年5月から6月にかけて、秋の主要なエサであるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の雄花の落下数から、豊凶を事前予測している。



<調査結果>

樹種	事前予測	雄花落下数 平均値 (個/m ²)	調査 地点	内 訳				
				大凶作 ×	凶作 ▲	並作 ○	豊作 ◎	大豊作 ◎◎
ブナ	× 大凶作 (▲ 凶作)	2 (87)	25地点 (25地点)	25 (1)	0 (10)	0 (4)	0 (0)	0 (0)
ミズナラ	◎ 豊作 (◎ 豊作)	496 (361)	23地点 (23地点)	2 (2)	4 (4)	2 (6)	5 (7)	10 (4)
コナラ	○ 並作 (○ 並作)	746 (740)	30地点 (26地点)	0 (1)	4 (3)	16 (14)	9 (7)	1 (1)

※調査市町：志賀町・中能登町・宝達志水町・津幡町・金沢市・白山市・能美市・小松市・加賀市

※事前予測は、調査地点全体の雄花落下数の平均値（個/m²）で豊凶を判断

※各調査地点の豊凶判断は、1地点あたり5箇所を調査した雄花の落下数（個/m²）で判断

※（ ）内は、昨年値

（樹種別豊凶判定基準）

（単位：個/m²）

樹種	大凶作 ×	凶作 ▲	並作 ○	豊作 ◎	大豊作 ◎◎
ブナ	30未満	30 ~ 200	200 ~ 900	900 ~ 1,700	1,700以上
ミズナラ	50未満	50 ~ 200	200 ~ 300	300 ~ 500	500以上
コナラ	50未満	50 ~ 200	200 ~ 1,000	1,000 ~ 1,900	1,900以上

※石川県林業試験場の研究結果による判定基準

8月には、樹上の果実を数える、より精度の高い「着果状況調査」を実施し、豊凶状況を9月上旬には公表することとしている。

参考：近年の着果状況調査結果と令和元年雄花の落下数調査結果による豊凶状況（予測）

区分	各年度の着果状況における豊凶結果											R2 雄花調査 による 事前予測	凡 例
	H16※	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1		
ブナ	×	×	◎◎	▲	▲	▲	◎	▲	○	○	▲	×	大豊作 ◎◎
ミズナラ	×	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎◎	◎◎	▲	◎	豊作 ◎
コナラ	×	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	並作 ○
目撃件数	1,006	353 (43)	60 (27)	126 (43)	147 (95)	256 (79)	195 (73)	246 (139)	200 (109)	178 (110)	350 (156)	— (144)	凶作 ▲
													大凶作 ×

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※（ ）内は7月6日時点の目撃件数